

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

**事業所名**

ゆばら

日付 平成 21年 2月 3日  
特定非営利活動法人

**評価機関名** ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験15年

評価調査員 介護支援専門員経験5年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

**1. 評価結果の概要**

**講評**

全体を通して(特に良いと思われる点など)

平成18年3月に設立、途中母体法人の名義変更はあったが、実質2年9ヶ月経過したグループホームを3回目の訪問調査で見せて貰った。一つの事業の最初の節目は3年目と言えるだろう。グループホームの状態が一番に利用者にある。認知症高齢者が主役である以上、利用者の症状は3年も経過すると当初から相当悪化していく事は免れない。このホームの場合、当初から5人しか退去者がいないので、利用者の居住も安定していると言っても良いので、当初から居る人は活動も薄れてくるであろう。その人達をどのように毎日の生活を支えてあげられるかが、職員の腕に掛っている。認知症の人にとって、このホームで「安心・満足・信頼」の気持ちを持って貰えるように、職員が利用者と共にどのように生活しているか、それが関わり方であろうと考えた。その一つが以前に比べて、リビングルームに貼ってある作品を見ると、年々力作が多くなってきたと感じた。

クリスマス・月見・雪だるま等の季節を表す作品、動物や魚を表現した作品、利用者の誕生日や標札を表す作品等、多種多様な作品を切り絵・貼り絵・塗り絵や工作風の手法で作って、リビングルームに生活臭を漂わせている。職員も関わって、利用者全員で作り上げた物に感心したが「クリスマスのを見た？すごいでしょ」とその出来栄を自慢している。「皆で作る言うても、私は大した事はしていない。あの人が上手じゃ」と他の利用者を褒めている。ある人は「遊び事です。悪さ、悪さ」と笑いながら、せっせと竹ひごを芯にして紙を巻き込んでいる。「こうやって、巻き始めは紙を輪にして巻いて、糊で止める。誰が考えたか知らんけど、遊びがてらやっとります」と昨年よりずっと生き生きと手を動かしている。皆で力を合わせて作品を完成させ、お互いにそれぞれの人の力を褒め合いながら、大満足の笑顔が広がっていた。このように利用者同士でもしっかりした仲間意識を持って、一つの目標に向かって生活出来ているのは素晴らしいと感じた。

利用者はホームの仕事の手伝いもよくする。台所で調理、食材の下拵え、盛り付け、配膳等、利用者の手でするし、食後の片付け、掃除等、当てになる人力である。「利用者一人ひとりとしっかり話をして、それぞれの思いを受け止め、出来るだけ希望を実現出来る様、精神面を大切にしながら、その人の出来ないところを見極めて支援していきたい。少しでも自立して出来る事を大切に、一日のうち出来るだけ沢山の笑顔を見たい」との管理者の言葉に納得するが、人材育成と人材確保の必要性もこれから早急に実現しなければならない課題でもあったと感じた。管理者一人への負担を少しでも軽減して、管理運営にも力を注げるようにするのが4年目に入る重要な体制であろうと思う。

特に改善の余地があると思われる点

前回は提案した事であるが、介護計画や記録類が、グループホームの業務の柱となって、日々のケアと利用者の人生記録に結び付いていけるような、存在価値のあるものに改善していけると素晴らしいと思う。利用者のケアを、具体的な目標によって行えるような着眼点が見出せるように、私共もその方式が見出せるよう協力していきたいと思っています。

## 2. 評価結果（詳細）

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：運営理念は設立の時に職員全員で決めたものを継続しているが、「自立を促す為の介護を基本として、常に目配り・気配り・心配りで介護に努めるよう」が認知症ケアの重要な心得と共感する。職員同士ではミーティングや申し送り等の機会を通して認識しているが、もう少し地域の人にも理解して貰えるよう啓発・広報していきたいと考えている。運営推進会議も活用して、このホームの特長やケアの効果を理解して貰うと、別の協力も得られると思う。</p> <p>2、全体的に見て…：どんな理念であろうと、ホームのケアとサービスに生かして行く為には、職員の資質と情熱が必要である。今年になって管理者の負担も通常勤務のウエイトが重くなっているため、人材確保も重要である。</p>		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：土地・建物・設備面のハードな所は改善する所はない。ゆったりした空間の中で利用者も穏やかに生活しており、利用者と職員で作品作りをして生甲斐も見出し、その作品がリビングルームに展示してあり、生活臭が漂っている。ソフト面もハード面とマッチして生活動線が見えてきた。</p> <p>2、全体的に見て…：リビングルームや居室もゆったりとしていて、屋外の敷地内での散歩コースものんびりと過ごせる。2つのユニットがあるが、1階は「こもれび」、2階は「ひだまり」とユニット名称が付いている。この名前とユニットの印象がよくマッチしている。朝の日差しが入り、そここのこじんまりとしたスペースに仲良しの2～3人が座って、楽しい一時を過ごす。1階は同じ構造の建物であるが、視界は悪いので何か木から漏れてくる日差しのためり場があるという感じがする。</p>		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人のできることに配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：ケアはそれに携わる人の資質によって随分違う結果を生むものである。利用者の人格を尊重し、声掛けや心掛けはケアをする人次第で大きく異なるので、職員のレベルアップを重要な課題と考えている。高い目標を課題としているので、近い将来が楽しみであり、良いホームへの期待がある。</p> <p>2、全体的に見て…：ホームに入所した時に 荒れていた人に対し、温かいケアによって人間回復させて、楽しい生活を送っている人も多い。例えば、眠剤を使わないと眠れなかった人に、昼間しっかり活動して貰い、食事を美味しく食べられるようになり、楽しく生活が出来るようになった。いつも泣いてばかりの人に職員が本人の希望最優先でじっくりと付き合っあげた。いつも自分の事を思ってくれていると、安心出来て、すっかり落ち着いて元気で生活出来るようになった。このように一人ひとりの気持ちを大切に粘り強いケアを続けている。</p>		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
記述回答	<p>1、自主評価について…：家族同士の交流をしていく為に、これからきっかけ作りを試みたいと考えている。家族の意向もはっきり聞けたり、協力して貰える関係が作れたら、又良い雰囲気を作れると思う。又、何をやるにしても、職員の育成と確保は大切で、且つ重要な課題である。職員の確保をして、安定したケアと運営をして貰いたい。</p> <p>2、全体的に見て…：母体法人の代表者の子息が、副施設長として、グループホームの責任者として、参加するようになった。まだ経験が浅いので、認知症の知識やグループホームの在り方等、勉強する事は必要であるが、グループホームの将来として「地域交流を実現する為、子供達が集まれる場を作り、子供と高齢者の総合ケアを目指したい」という希望を話してくれた。そして「入居者の事を一番に考えて行動し、一人ひとりをどのようにサポートしていくかの見極めを大切にしたい」と抱負を述べてくれた。近い将来にきっと良い運営者になってくれることと期待している。</p>		